

## ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価報告書

学校法人山口学園ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会は、平成29年10月2日に「2016年度自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告いたします。

平成29年10月2日  
学校法人山口学園  
ECCアーティスト美容専門学校  
学校関係者評価委員会

### 1. 学校関係者評価委員（「ECCアーティスト専門学校 学校評価実施規定」選出区分）

#### 【関連業界等関係者「同第12条第1項（1）」】

##### 委員長

永倉 瑞江 氏 （一般社団法人JMA 取締役 検定事業本部本部長）

坂本 恭一 氏 （滝川株式会社 大阪営業所次長）

#### 【保護者または地域関係者「第12条第1項（3）」】

猿木 唯資 氏 （済美福祉センター連合運営委員会 会長）

高野 圭梨 氏 （ECCアーティスト美容専門学校卒業生）

#### 【その他校長が必要と認める者「第12条第1項（4）」】

橋本 尚樹 氏 （株式会社クラフトワークス 副部長）

#### 【ECCアーティスト美容専門学校 学校長】

中村 竜二

#### 【同席者】

辻浦 誠司 ECCアーティスト美容専門学校 副校長（議長代行）

三木 武志 学校法人山口学園 自己点検評価室

川添 雅英 ECCアーティスト美容専門学校 教務課

兼田 寛子 ECCアーティスト美容専門学校 進路指導課

## 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

- ・事前に配布した自己評価報告書を確認し、各項目を議長から説明、課題・改善策等に関して討議、意見交換を実施した。

| 項 目          | 評価・意見   |
|--------------|---|
| 基準 1 教育理念・目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念を教室等に掲示しているかの確認あり。全学生に配布するハンドブックにその記載あるが、教室等への掲示は実施していない。ビジュアル的に触れる機会が相当ないと、浸透は難しいとの指摘有り。オリエンテーションでの解説、ホームルームでの定期的なリマインドに加えて教室での掲示等、今後その対応を再検討する。</li> </ul>  |
| 基準 2 学校運営    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に大きな課題は見られないが、今後、教育課程編成委員会の分科会の開催、コースデザインミーティング内でのテーマ再設定を実施し、精度を上げていくことを確認。</li> </ul>   |
| 基準 3 教育活動    | <p>美容業界での英会話の必要性が向上していることを確認、様々な意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事でも英語は必要。海外での撮影でも周りにアピールが出来ず、次の仕事につながらないことがあった。</li> <li>・お客様が外国人のケースは普通になってきた。社会に出ると英会話習得にお金と時間がかかるので、学生のうちに勉強しておきたかった。今の学生がうらやましい。</li> <li>・ECCの学生で、パリコレに行った学生に当サロンに説明に来て、モデルとのやりとりなど話をしてほしい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 今後、サロン様を対象にサロンで使用する英会話セミナー等を企画予定。</li> </ul> </li> <li>・学内コンテストであるEコレで英語でのデモをしてみてもどうか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ プレゼンテーションできる機会を模索する。</li> </ul> </li> <li>・美容師が使う中国語の本もあり、美容業界で出回っている。</li> <li>・日本の美容サロンには海外の人が働いていない。ビザの問題が大きいので、美容業界として変化させたい。(介護などは国をあげて外国人労働者を増やしている)</li> </ul> |
| 基準 4 学修成果    | <p>過去6年間の就職実績を紹介の上、現在、現場で必要とされる人材象等を議論。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性で前に出る(元気な)人材が欲しい。気遣い、気配りができ、サブライズ的に人を喜ばせることができればいい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 専門技術面だけでなく、どう人間力を上げてゆけるかを科目、カリキュラムに組み込んで現在対応中、今後さらに強化する。</li> </ul> </li> <li>・SNSで発信力のある人。プライベートではなく、仕事で人をhappyに出来る人。インスタで学生からのアプローチはあるが、こちら(企業側)</li> </ul>  |

|                 |   |
|-----------------|---|
|                 | <p>からはしない。</p> <p>→ SNS 活用の必要性は実感している状況だが、なかなか対策が打てていない。SNS の技術および使用に当たっての注意点をセミナー形式で導入することを検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職してからつらいことがあったので、学生時代にインターンシップがあればよかった（当時はなかった）したい。</li> </ul> <p>→ 現状、インターンシップやサロンワーク実習のウエイトを高めている。実践力習得の重要性が確認できてきたので、今後さらに強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の健康や、福利厚生、社会保険のことなど、学生のうちは気づかないが、とても大事だった。</li> </ul> <p>→ その重要性を学生中に伝達できるよう更に対策を講じる。</p> |
| 基準 5 学生支援       | <p>学生アンケートに関して意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生時代にアンケートを出したが、返事がなかった。ただ、「1」を入れたところは改善されていた記憶がある。</li> </ul> <p>→ アンケート結果とその対応状況に関して学生にフィードバックする方法を検討し実施する。</p>  |
| 基準 6 教育環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックサロン、ネイルサロン、美容サロン、メイクサロン、ビューティアドバイザー実習室、シャンプー実習室、写真スタジオ、特殊メイク工房等多数の実習室があり、実践教育施設が充実している。</li> </ul>   |
| 基準 7 学生の受入れ募集   | <p>不合格者を出す選抜試験を検討していることに対して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者確保と退学者を減らすバランスが大事だが、とても難しいことは理解できる。</li> <li>・受け入れる際に、適正を確認できるようにしてほしい。</li> </ul> <p>→ これらの意見を参考に今後検討予定。</p>  |
| 基準 8 財務         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学生数増加、退学率抑制、3年制学生の増加等で利益率は大幅に向上、現在広報費を下げた更なる健全運営を図る。</li> </ul>  |
| 基準 9 法令等の遵守     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、大きな課題なし。今後第三者評価に向けての準備を進める。</li> </ul>   |
| 基準 10 社会貢献・地域貢献 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、社会との密接な関係を維持、構築する地域貢献に関して、サービスラーニングの一環として、専門技術を活用しながら地域の課題を解決する取り組みを授業として導入、全コースで実施している。一方、ボランティア活動は多少消極的な状況が見られる。</li> <li>・クリーン中崎町等の告知、参加者募集を強化することを期待したい。アーティストはやや少なくなっている傾向を感じる。</li> </ul> <p>→ 今後対策を検討。</p>  |
| 基準 11 国際交流      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山口学園として留学生数は 800 名を超えている。留学生との交流するバディ制度があるが、本校はその関わりが小さい傾向がある。</li> </ul>   |

|  |                  |
|--|------------------|
|  | 今後、その強化策を検討する予定。 |
|--|------------------|

●中村学校長

今回頂いた貴重なご意見、ご指摘を確認し、改善策・解決策を講じていきたい。学生に関しては授業を中心に年 2 回アンケートを取得し、講師や担任、学校に対しての評価を取っているが、しっかりとフィードバックできる体制を検討したい。学生だけではなく、学外の方にご意見、評価していただき、それを反映していきたいと考えている。

以上